平成 30 年 5 月 5 日発行　毎月 1 回 5 日発行　オイスカ通巻 656 号　昭和 42 年 12 月 27 日　第三種郵便物認可　別紙

公益財団法人 オイスカ FURUSATO！5 月号

～オイスカ四国のふるさとづくり～

全国うちわピンポン国際大会に出場！

4月1日（日）、丸亀市で行われた全国うちわピンポン国際大会に研修生みんなで参加しました。子どもからおじいさんまで、たくさんの人が参加していました。ルールはふつうの卓球とちょっと違います。ラケットもうちわで、とてもおもしろいと思いました。わたしはフィジーのジュタさんとペアで試合をしました。はじめは難しかったけど、だんだん上手になって、二人ともいいプレーができました。そしてわたしたちは第3位になりました！途中で負けたのは残念でしたが、3位でもとてもうれしかったです。

バユ（インドネシア）

新職員紹介

4月からオイスカ四国研修センターの職員となりました金澤優香です。センターでの仕事はとても大変ですが毎日楽しくやっております。初めてのこともありつまずくこともありますが、研修生が頑張っている姿を見ると私も一段とやる気が出ます。まだまだ不慣れなことばかりですが、皆様に支えて頂きながら成長したいです。まずは明るく元気に！頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。（金澤）

オイスカ春のつどい（第8回幹事会・講演会・懇親会）を盛大に開催！

4月23日(月)に四国支部の「オイスカ春のつどい」を、オークラホテル丸亀で開催いたしました。

当日は、15時半から第8回幹事会を開催し、平成29年度の事業報告と決算報告、会計監査報告、平成30年度の事業計画案と予算案が、それぞれ審議されました。続いて、16時45分から藤田幸三オイスカ首都圏支部副会長兼事務局長(前電気連合福祉共済センター理事長)による「労働組合からみたオイスカの魅力と支援の意義」と題する講演会を開催しました。その後、18時から懇親会を開催し、淀谷香川県知事公室長をはじめとした来賓挨拶に続いて、平成29年度功労者への感謝状贈呈や研修生紹介などを行い乾杯！盛会となりました。

研修生にとっては、今回の行事が会員の方々との初めての交流機会となり、皆様に温かく接していただいたことで、これから始まる研修への意欲を高めることも出来たようです。

今年度も支部と研修センターが車の両輪のように一体となり、四国の地での更なるオイスカ活動の発展を期した春のつどいでした。皆さま有難うございました。引き続き、よろしくお願いします。

（池田）

研修生は国の衣装を着ての参加。
みなさんとてもきれいでした！
基礎研修を終えたばかりの研修生。
会員の皆様とちゃんとお話しできたかな？

組織名	開催日
高　松　推進協議会	5 月 23 日（水）
中　讃　推進協議会	5 月 28 日（月）
綾　川　推進協議会	6 月 2 日（土）
三　豊　推進協議会	6 月 6 日（水）
坂　出　推進協議会	6 月 11 日（月）
香川東　推進協議会	6 月 16 日（土）
徳島県　推進協議会	6 月 19 日（火）
高知県　推進協議会	7 月 11 日（水）

～平成３０年度　オイスカ推進協議会

総会開催日程～

詳細は、四国支部までお問い合わせください。
TEL　087-821-1503

四国センター50 周年を記念し、オリジナル手ぬぐいと缶バッチを作成しました。オイスカらしさを込めたデザインになっています。今後は総会、各イベントで販売予定です。ぜひ 5 種類コンプリートしてください！

・缶バッチ（4 種類）
1 個 100 円

・手ぬぐい
1 枚 1,000 円

5 月のイベント予定

月日	曜日	イベント名	主催・協力	場所
3・4 日	木・金	（丸亀お城まつり） 丸亀城下町こだわり大物産展出店	中讃推進協議会・センター	丸亀城前市民広場
4 日	金	こどもフェスティバル	さぬきこどもの国	さぬきこどもの国
11 日	金	滝宮小学校交流 四電チャリティボーリング	綾川町立滝宮小学校 四国電力総連	四国研修センター シーサイド高松
17 日	木	農業経営高等学校講演	農業経営高等学校	農業経営高等学校
22 日	火	短期稲作研修生 2 名入国（～6 月 27 日）	四国研修センター	四国研修センター
23 日	水	四国支部常任幹事会	四国支部	オークラホテル高松
27 日	日	綾川町男女共同参画会議ゴミ拾い活動	綾川町男女共同参画会議	綾川町
28 日	月	ガディ帰国		

「FURUSATO！」5 月号　発行
公益財団法人オイスカ四国研修センター
〒761-2103　香川県綾歌郡綾川町陶 5179-1
TEL　087-876-3333　FAX　087-876-3334
E-mail; oiscastc@oisca.org

古本で！
「子供の森」計画サポートプロジェクト
OISCA × VALLE BOOKS

基礎研修の流れ～日本で学ぶために～

基礎研修修了式

～日本語研修の成果、これから専門研修が始まります～

4月21日（土）、日本語を中心とした基礎研修が終わり、これから本研修が始まります。その前に1～2か月の日本語の研修の成果としてスピーチ発表会を行いました。

それぞれにテーマを持ち、自分の言葉で3分のスピーチをしました。自国の事や日本での生活の事、これから勉強したいことなどを皆の前で話しました。内容を覚えている者、メモを見ながら確認している者などいましたが、どれも自信を持って自分の言葉で語っていました。参加して頂いた日本語指導の先生方からも良い評価を頂き、研修生がこの基礎研修でどのくらい努力したのか伝わってきました。その後、基礎研修修了式を執り行い、懇親会では参加者と懇親を深めました。

基礎研修では日本語の他にも規律訓練、日本のテーブルマナーや農業、調理の基礎、交通安全講習や防災訓練などの、日本での生活に関わる研修も行ってきました。これから本研修に入り、より実践的な技術研修を行い、また多くの人に関わる機会も増えていきます。より学びを深めるために今後も頑張ってまいります。どうぞよろしくお願いいたします。（矢野）

人前で話だけでも緊張します。
私の日本語どうですか？

基礎研修の修了証授与。これで日本語もバッチリというわけではありませんが、これからも頑張ります。

日本での災害に備えて防災訓練を行いました。実はこの先週に地震があり、防災意識を持つようになりました。また、警察署でも日本の交通ルールを学びました。日本での生活は言葉だけでなく、ルールも覚えなければなりません。

入所した週に綾川町の綱引き大会に参加しました。皆の気持ちが1つになり、すぐに打ち解けました。また、地元の人たちとの交流も図れました。

日本の研修生で必須となる日本語研修。現地でも少しは勉強してきましたが、実際日本人の話す日本語に触れて、より理解が深まりました。

☆☆50年の歴史と人とのつながり☆☆

オイスカ四国研修センター　50周年大同窓会

～これまでの50年、これからの50年～

4月7、8日にこれまで四国センターで関わってきた人たち（スタッフ、ボランティア、研修生、会員の皆様、地元の方々他）を一同に集めての大同窓会を開催いたしました。当センターの50年が今のメンバーだけでなく、多くの人たちの支えによって築きあげられたこと、それらを振り返り、心機一転、今後のオイスカを盛り上げて行こうという主旨で行われました。参加者には東京本部で勤務している藤井や野木、元所長の柿沼、就農している高坂、横江など総勢70名が集う会合になりました。

【7日】

自己紹介や報告会では、いつオイスカに関わって、今何しているなど共通の部分や全くの畑違いの仕事をしている者など、多様に活動していることをそれぞれが話をしました。

それでも自分の原点がここオイスカ四国センターにあり、様々な価値観がある中、自分がここで経験したこと、勉強したことが今に活きているという人たちばかりでした。

夕方の食事会では、地元の方々にうどんを振舞って頂きました。うどんに舌鼓を打ち、思い出話に花を咲かせていました。

【8日】

朝の国旗掲揚、点呼を体験してもらいました。当時とはやり方も変わっていましたが、オイスカの研修の基本は変わらない規律、尊重、協調性の柱が今でも継承されています。

その後、四国センター発祥の地、冠纓神社にて参拝、清掃奉仕を行いました。オイスカ活動がここで始められたことに感謝すると共に、当時の思いを感じ取る良い機会になりました。

センターに戻り、オイスカ活動を考えるワークショップを行いました。センターにいるときに考えたことや今だから思いつくことなど、様々なアイデアが飛び交いました。

最後の昼食会では、別れを惜しむ場面や新しい出会いに会話を弾ませるなど、最後まで笑顔の絶え合い会合となりました。

たった2日間というスケジュールでは、語りつくせないオイスカ四国研修センターの50年を、皆で少しは共有できたのではないでしょうか。

今回の参加者も、日程が合わず参加できなかった人たちからも、早くも2回目の開催を求める声が出て来ました。イベントに限らず、研修の幅を広げ、もっと四国を色々な形で盛り上げて行きます。

（矢野）

何十年ぶりに再会をはたす場面も。
感動や価値観の提供はオイスカの
強みでもあります。

冠纓神社にあるオイスカ記念石碑の前で。50 周年に
このメンバーで集まるとは思いもしませんでした。